

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月 1日 更新

事務事業名		金婚表彰事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至	
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進	所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁	
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進	所属班	高齢者保険班	(内線)	2142	
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10434	法令根拠	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
予算科目		熊本日日新聞社事業					成果優先度評価結果	⑧
							コスト削減優先度評価結果	⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	○昭和34年、熊本日日新聞社が天皇陛下(当時皇太子殿下)の結婚を記念して金婚夫婦巡回表彰を熊本県内全各市町村で開始。これに協力して表彰伝達式を開催している。 ○平成22年度、対象者に市長からお祝いメッセージを贈るようにした。 平成25年度から敬老事業に統合した。
【業務の流れ】	①対象者調査(6月~7月に区長を通じて金婚該当者を調査・報告。市広報へ届出記事掲載) ②対象者を熊日へ報告 ③式典への案内・出欠確認 ④式典運営(日程・会場調整、表彰物準備、会場設営、式典開催) ⑤記念品(集合写真)送付 ⑥欠席者へ表彰物の送達
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	式典は午前中の開催が良いとの声がある。(お祝い事は午前中に済ませたほうが良い。午後からでは高齢のため体調維持が難しい。)※熊本の巡回日は必ず午後からとなる。 市長メッセージはうれしい。せっかく頂くものなのでもう少し大きいサイズにできないかとの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
対象者調査・熊日へ報告、式典への案内・出欠確認、式典運営、記念品(集合写真)送付、欠席者へ表彰物の送達	24年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 金婚夫婦	組 敬老事業へ統合したため予算計上なし
→ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
その年の金婚夫婦	(単位) 組
	→ ア 表彰式に参加した金婚夫婦
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
金婚を祝う	(単位) %
	→ ア 表彰式に参加した金婚夫婦の割合
	→ イ
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
意図が金婚を祝うのため、対象金婚夫婦が表彰式に参加することによって、多くの方から祝ってもらえるので、表彰式に参加した金婚夫婦の割合とした。23年度実績を参考に目標値を80%とする。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 組		79	74	80	90				
	イ									
② 対象指標	ア 組		43	61	64	61				
	イ									
③ 成果指標	ア %		54.4	82.4	80	67.8				
	イ									
投資 入 費 量	事業内 財源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	105	96	124	99			
		(A) 事業費計	千円	105	96	124	99			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		(B) 人件費計	千円	333	484	452	447			
人件費	正規職員従事人数	人	5	4	4	3				
	延べ業務時間	時間	81	120	112	110				
トータルコスト(A)+(B)	千円	438	580	576	546					

事務事業名	金婚表彰事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 届出があった金婚夫婦は90組（対前年比+16組）であった。夫婦の一方の都合で出席されないご夫婦もあり、目標値の達成はできなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 敬老事業に統合	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 敬老事業に統合	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 敬老事業に統合	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市が負担する費用は、式典集合写真、表彰状、会場設営にかかる必要最少の金額である。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 金婚夫婦調査(区長へ依頼)、表彰式典運営などに要した業務時間が主であり、必要最少の時間数となっている。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 金婚を迎える夫婦は一部であり不公平感はあるが、結婚50周年を迎える高齢者夫婦を祝うことは、ひろく市民が高齢者の福祉について関心と理解を深めるとともに、夫婦で健康で長生きしたいとの意欲を高めることにより社会参加が促進され地域での仲間づくりができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 この事業は熊本日日新聞社に協力して実施しているものである。このうち、対象夫婦の把握を区長に依頼している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>熊日が指定した本市への巡回日は市議会開会日であったため、市議会休会日の午前中に表彰式典を開催した。 熊日事務局と協議し、25年度は熊日の巡回同席ができるように早目の調整を行うこととした。 熊日新聞社による表彰であるため熊日紙面への名前掲載が表彰を受ける前提となることから届出られない夫婦もある。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						